



市・天然記念物

どうすぎ がんじょうしょくぶつぐんらく
洞杉及び岩上植物群落 魚津市三ヶ

魚津市を流れる片貝川の上流南又谷一帯（標高 500～700m）に、樹齢 500 年以上とも推定される天然スギ（タテヤマスギ・アシウスギ）が群生している。この天然スギ群には、幹が空洞になったものもあり、地元では「洞杉」と呼んでいる。洞杉の大半は巨大な転石の上に育成し、多雪環境を生き抜く中で根元から多数分岐し曲がりくねる特異な樹形を形成している。

洞杉周辺の岩の上には、多湿・多雪環境を反映し多様な樹木や着生シダ類等が生育し、小さな植物社会（群落）を形成している。なかでも、富山県の絶滅危惧種であるオオフジシダは、洞杉周辺が県内唯一の生育確認地である。このシダは、本州南部等の温暖地域を中心に生育し、日本海側では新潟県を北限として飛び地的に分布している。洞杉周辺は北限に近い貴重な生育地である。

平成 25 年 5 月 8 日 指定